

あわみなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話

報告 徳島飛行場拡張整備事業 いよいよ大詰めへ

徳島飛行場拡張整備事業は、滑走路の500m延伸(完成時2500m)とターミナル地区の海側移転を目的に平成13年より開始されています。拡張整備事業は平成20年秋までに、外周護岸や地下排水路の他、埋立や盛土等の土地造成工事がほぼ完了しており、現在は滑走路、誘導路やエプロン(駐機場)の舗装工事が本格的に進められています。

拡張整備事業は航空機の運航と並行して進められるため、エプロン、滑走路、誘導路の舗装工事の多くは離発着する航空機の運航に支障のない夜間に実施されます。

平成21年1月にはターミナルビル株式会社の新ターミナルビル建築工事の起工式が行われましたが、舗装工事の進捗に合わせて今後航空局の航空灯火工事が予定されているなど、徳島飛行場拡張整備事業はいよいよ大詰めを迎えます。

当事業が完成すると、大型ジェット機の就航が可能となり、安全性や利便性が大きく向上します。新空港は一層の利用促進を図るとともに、全国における知名度をアップさせるため、『徳島阿波踊り空港』の愛称で生まれ変わる予定です。

平成21年度は施設整備の舞台がターミナル地区に移行しますが、四国地方整備局は他の事業主体と協力し、事業の確実な実施を進めてまいります。



エプロン舗装工事



ターミナルビル起工式

INDEX ▶

- みなと通信 1
徳島飛行場拡張整備事業 いよいよ大詰めへ
- みなとインフォメーション 2
平成21年度新規着工事業 安全・安心・活力の増大に向けて(港湾整備事業)
- こまぼんのなるほど! みなと講座 3
橘港の輸出入貨物について
- みなと通信 4
GPS波浪計設置工事に着手
NHK朝ドラ 美波町が舞台に!